

学校紹介

沖縄県立那覇工業高等学校

1. 学校の沿革

昭和 40 年 6 月

琉球政府立産業技術学校の設置決定

昭和 41 年 4 月 開校

建築大工科・機械科・ラジオテレビ科

各 2 学級 計 150 名

10 月 配管科・電気科・測量科・内張科

昭和 44 年 12 月

琉球政府立那覇工業高等学校の設置決定。夜間部は定時制とする。那覇産業技術学校の生徒の募集停止。

昭和 45 年 4 月 那覇工業高等学校 全日制 360 名

昭和 46 年 12 月

設置学科を機械科、自動車科、電気科、印刷科、デザイン科、調理科とする。

昭和 47 年 5 月

本土復帰により沖縄県立那覇工業高等学校となる。

昭和 51 年 2 月 体育館落成

昭和 58 年 4 月

デザイン科及び調理科は学校編成整備計画により募集停止。

平成 28 年 12 月 創立 50 周年記念式典

平成 30 年 11 月

スターリングテクノラリー全国大会宙返りクラス優勝。

'18 エコデンレース全国大会 バッテリー部門ワイパーモーターの部優勝（全国大会 10 連覇）。



2. 教育目標

憲法，教育基本法及び学校教育法の精神に則り，人格の完成をめざし，生徒の個性の尊重を基本とし，創造性と国際性を培い，産業社会の有意な担い手としてグローバル化に通用する人材の育成をめざす。

3. 教育方針

(1) 人間尊重の精神を培い，豊かな人間性の育成と個性の伸長を図り，心身ともに健康で社会の発展に寄与できる人材を育成する。

(2) 学力の向上をめざし，自ら学ぶ意欲と豊かな創造性を培い，主体的に判断して行動できる人材を育成する。

(3) 専門教育が産業や社会の発展及び国民生活の向上に果たす役割を理解させるとともに，国際的な視野に立ち，誠実で研究心旺盛な実践力に富む人材を育成する。

(4) 望ましい職業観・労働観を身につけ，主体的に進路を選択・決定できる能力と態度を育成する。

4. 設置学科

本校には，機械科，自動車科，電気科，グラフィックアーツ科，服飾デザイン科の 5 つの学科があります。平成 26 年度入学生より機械科のコース制を廃止し，電気科のコースを「電気技術コース」「情報技術コース」に変更しました。

1. 機械科

2. 自動車科

3. 電気科：「電気技術コース」「情報技術コース」

4. グラフィックアーツ科

5. 服飾デザイン科

これらの多様な学科で、生徒たちの多様なニーズに応えることができるようにしています。

5. 進路指導

卒業生の約50%が地元企業を中心に就職しています。進学する生徒は約40%で、内訳で最も多いのが専門学校です。大学進学の場合は指定校推薦等の制度を利用したものです。

(1) 基本方針

生徒の個性を生かし、社会人として必要な能力や態度を身に付けさせ、将来社会人として自立し社会に貢献できる人材の育成に努める。

(2) 努力目標

- ① 進路の早期決定のための啓発
- ② 進路相談の強化・連携
- ③ 進路情報の提供
- ④ 試験・面接指導の強化・連携
- ⑤ 進路決定者の指導充実

6. 特色ある教育活動について

【機械科】おきなわ技能五輪 2018 に出場



電気溶接部門



フライス盤部門

2018年11月3日、沖縄県で初の開催となる

技能五輪に機械科から2名が参加しました。

【機械科】スターリングテクノロジー全国大会
優勝



2018年11月26日、ものづくり大学（埼玉県）で行われたスターリングテクノロジー全国大会に、機械科の生徒6名が県代表として出場し、見事、全国大会優勝と3位入賞を果たしました。

【機械科】九州地区溶接技術競技会 準優勝



2018年12月14日に、平成30年度第11回九州地区高校生溶接技術競技会が行われ、団体の部で準優勝、個人の部でも優秀賞・優良賞に入賞しました。

【電気科】第25回沖縄県高等学校ロボット競技大会 ロボット相撲の部

2018年9月7日、本校を会場に行われた「第25回沖縄県高等学校ロボット競技大会」にロボット競技部（電気科）の生徒8名が出場し、相撲ロ

ボット（自立型）の部で、3位と4位に入賞しました。

【グラフィックアート科】サイバーセキュリティ 動画コンテスト2年連続優勝



沖縄県警察により行われた、サイバーセキュリティの意識向上を図るための動画コンテストにおいて、菅原クレンさん（グラフィックアート科2年）の作品が第1位に選ばれ、菅原さんは昨年に続き2連覇を達成しました。作品は県内各地の大型ビジョン等で放映され、サイバーセキュリティの啓発に活用されます。

【服飾デザイン科】おきなわ技能五輪2018に出場



技能五輪は出場者が全員23歳以下の大会ですが、専門学校の学生さんがまれに参加する程度で、大半は就職してからの参加となり、全国的に見ても高校生は出場すること自体が難しいようです。

本校の服飾デザイン科の2名は、今回の沖縄大会に照準を定め、技能五輪の洋裁部門に参加しました。10時間かけてジャケットを縫う課題をこなし、入賞こそ逃しましたが、県勢初の高校生

出場に多くの激励が寄せられました。

【グローバル・リーダー育成海外短期研修】報告会

11月に「グローバル・リーダー育成海外短期研修事業【専門高校生国外研修】」に参加した生徒2名が、12月25日に本校体育館において研修報告会を行いました。

本研修は、専門高校生を台湾やオーストラリアに派遣し、現地産業の視察や現地高校生・大学生との交流、職業体験等を実施することによって、グローバル社会に対応した人材の育成を図ることを目的に行われる、沖縄県教育庁が主催（研修費・渡航費は県が負担）しているものです。

【2018年度浦添地区少年補導員協議会の善行少年（団体）表彰】



本校の生徒会・部活生を中心に学校近隣歩道の清掃活動をしています。2018年5月28日に浦添警察署で浦添地区少年補導員協議会の善行少年（団体）表彰されました。

7. 数学科での取り組み

単位保留懸念のある生徒のために夏休み期間中に個人ごとの時間割を設定し、マンツーマンの指導をしています。その結果、多くの生徒が数学の単位の修得を果たしています。

また、ICTの積極的活用を呼びかけ、2次関数のグラフの平行移動や最大・最小を考える際に、動的なシミュレーションとしてGeoGebraやDesmosを活用しています。